

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2024年10月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

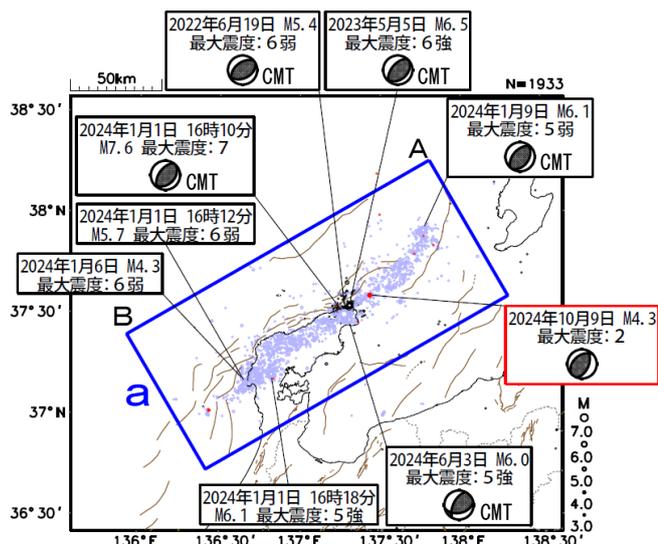
震源のプロット

黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～9月30日

赤色 2024年10月1日～31日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び10月中の最大規模の地震



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

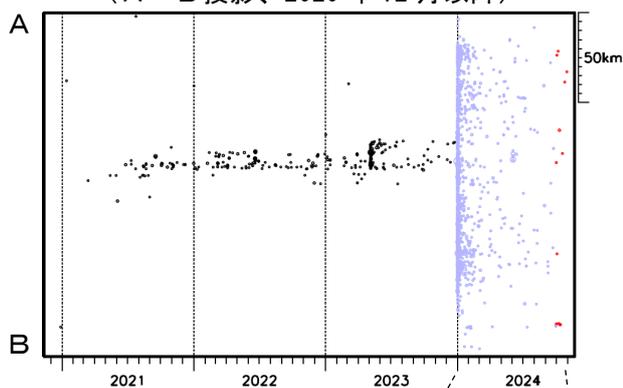
能登半島では2020年12月から地震活動が活発
になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震
(最大震度6強)が発生していた。2023年12月
までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方
の範囲であった。

2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の
深さ16kmで $M7.6$ (最大震度7)の地震が発生し
た後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、
能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東
-南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

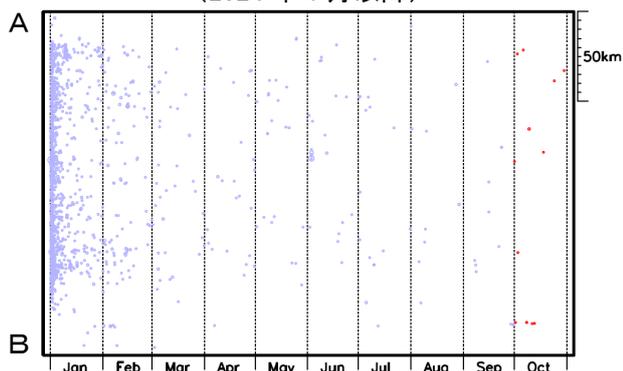
2024年8月から10月までの最大規模の地震は、
10月9日20時19分に能登半島沖の深さ14kmで
発生した $M4.3$ の地震(最大震度2)である。

地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に
は緩やかに減少してきているが、震度1以上を観
測した地震が、8月は18回、9月は18回、10月
は14回発生するなど活発な状態が続いている。

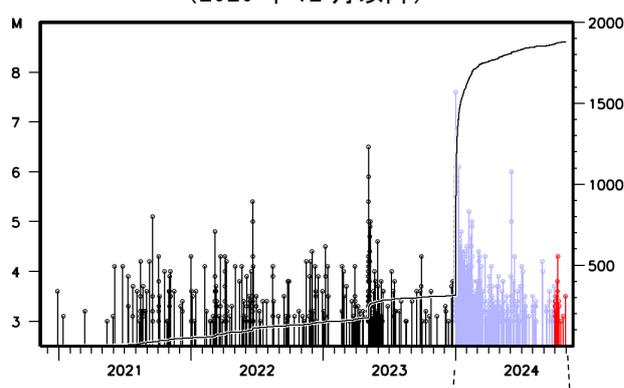
領域a内の時空間分布図
(A-B投影、2020年12月以降)



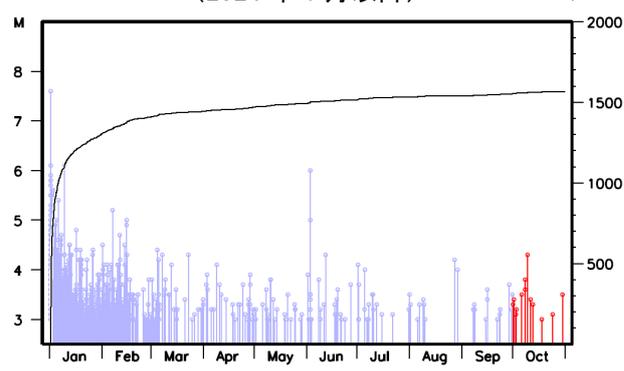
(2024年1月以降)

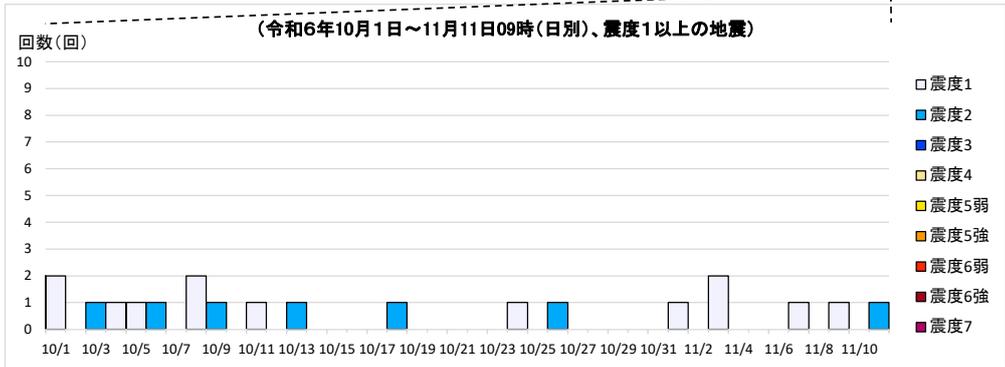
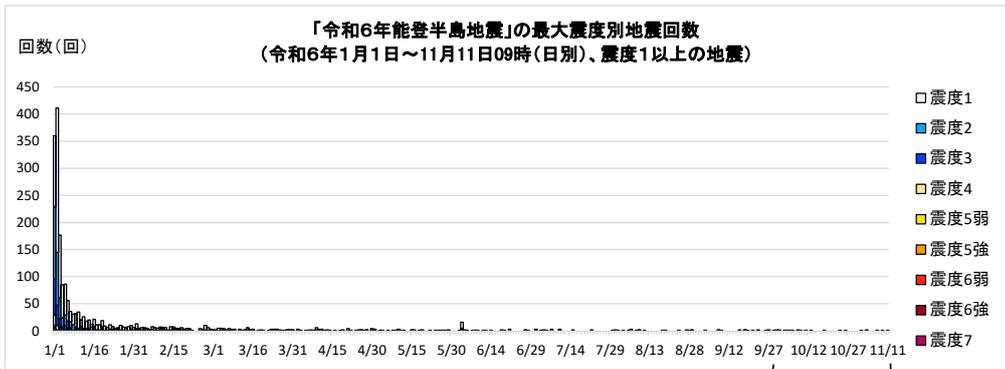


領域a内のM-T図及び回数積算図
(2020年12月以降)

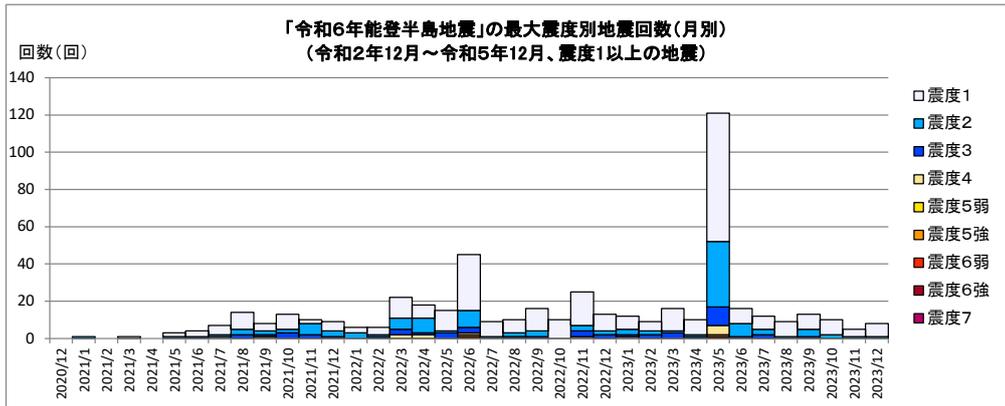


(2024年1月以降)





【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	0	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506		

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 - 30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1 - 31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1 - 31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1 - 30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1 - 31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1 - 11	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	2462	11/11 09時現在
総計(2020/12/1～2024/11/11)	1540	603	233	62	8	11	3	1	1	2462	2462	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。